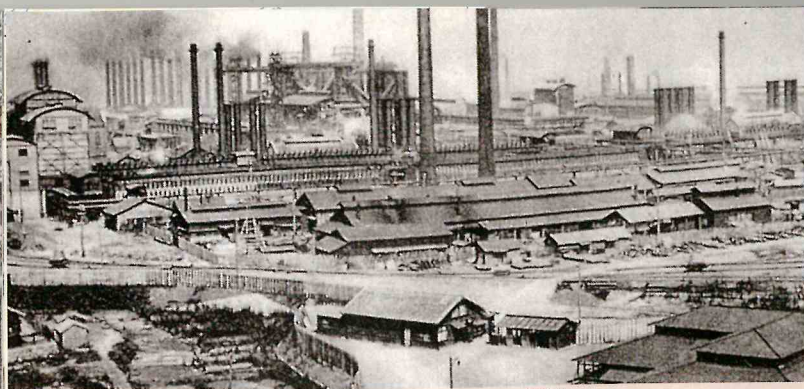
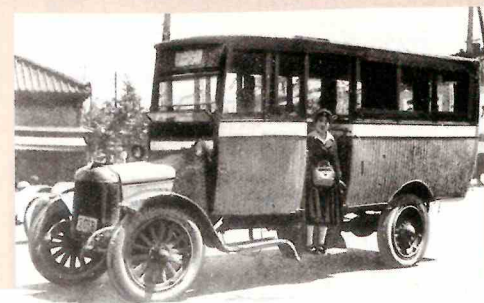




① 重工業の発達 中国(清)の鉄鉱石と九州地方の石炭を使い、官営八幡製鉄所(上, 福岡県北九州市)は、国内生産の約80%をしめました。



② ラジオ放送が始まる(1925年)



③ 交通の発達 電車やバスなどの交通も整備されました。また、働く女性の活やくの場が増えてきました。

④ 洋服のふきゅう 都市を中心に生活の洋風化が進みました。



調べる

産業の発展によって、人々の生活や社会はどのように変化したのでしょうか。

田中正造と足尾銅山

明治時代の中ごろから、足尾銅山(栃木県)の工場から出る有毒なけむりや廃水が、山林をからし、田畑や川の魚に大きな被害をもたらしました。周辺の農民の生活にも深刻なえいぎょうが目立ち始めたため、衆議院議員の田中正造は、足尾銅山の仕事をやめるように政府に何度もうったえ

るなど、農民の生活を守るために献身的な努力をしました。



⑥ 足尾銅山の位置

生活や社会の変化 日本の産業の発展は、都市部

の人々を中心に近代的な生活をもたらしました。

東京や大阪では、働く女性が増加し、洋服が女性にも広がり始めました。ラジオ放送も始まり、新聞と並ぶ人々の情報源になりました。その一方で、足尾銅山の鉱毒問題や工場で働く人の労働条件など、さまざまな社会問題も引き起こしました。

1914年、ヨーロッパで第一次世界大戦が起こると、日本もこの戦争に加わり、戦勝国の一つとなりました。この戦争のえいきょうで輸出が増えて好景気をむかえましたが、戦争の終わりごろから米などの値段が急に高くなりました。人々は、生活を守るために、各地で民衆運動を起こしました。労働者の生活を守るための労働運動や、小作料の引き下げを求める農民運動も起こりました。



⑦ 普通選挙の実現を要求するデモ行進(東京, 1920年)

人々の民主主義への意識は高まり、普通選挙を求める運動が広く展開された結果、25才以上のすべての男子が、衆議院議員の選挙権をもつようになりました。女性の地位向上をめざす運動も進められました。それまで男性より低く見られ、差別されてきた女性たちは、平塚らいてうや市川房枝などを中心に、選挙権などの権利の獲得、女性や母親の権利を守ることをうたえました。

また、明治に入って身分制度が改められてからも、就職や結婚などで差別され、苦しめられてきた人々は全国水平社をつくり、差別をなくす運動に立ち上がりました。

ことば

民主主義 教育が広まり、生活が豊かになると、人々の民主主義への意識が高まり、社会的な権利を主張する動きがさかんになっていきました。政府は、こうした動きを警戒し、運動を取りしめるための法律を定めました。



⑧ 米を売る店におしかける人々(名古屋, 1918年)



⑨ 女性運動 平塚らいてう(右)や市川房枝(左はし)らは、新婦人協会を設立しました。

山田少年の差別をなくすうたえ

1922年3月、京都市岡崎の公会堂で、全国水平社の創立大会が開かれました。この大会では、人間を差別する言動はいつさい許さない、と決議され、各地から集まった代表者たちは、その喜びと決意を口々に述べました。少年代表者である16才の山田少年は、差別の現実を報告し、「差別を打ち破りましょう。そして光り輝く新しい世の中にしましょう。」とよびかけました。

⑩ 演説する山田少年(1924年, 大阪市)



首都圏をおそった関東大震災

1923年9月1日、関東地方南部で大きな地震が起き、東京、横浜などで、こわれた家約21万戸、焼けた家約21万戸、死者・行方不明者約11万人の被害が出ました。また、震災の混乱の中で、朝鮮人が暴動を起こすといううわさが流され、多数の朝鮮人や中国人が殺される事件が起きました。



⑪ 震災後の東京